

## 「沖縄の観光とさんご」

沖縄アミークスインターナショナルスクール

6年生 上原 奈子

先日、読谷村でサンゴの養殖を行っているサンゴ畑に行き行って感じたことをお話したいと思います。今、地球の温暖化が原因で海水の温度が上昇し、多くのサンゴが死んで白くなってしまふ白化現象が沖縄をふくめ世界中で起こっている事を知り、残念に思いました。

そして、私の学校の外国人の先生に「沖縄の観光と課題」についてお話を聞く機会がありました。「沖縄の人は、もっと沖縄の自然を大切にしたい方がいい」という意見があり、確かに、私は身近にきれいな海があることがふつうで、深く考えたことがありませんでした。

今、日本本土や外国から多くの観光客が沖縄のきれいな海やサンゴを期待して訪れます。でも将来、沖縄の人が自然を大切にしなかったために、美ら海水族館でしか、きれいなサンゴが見られなくなったら、観光客の方々は、今まで通り沖縄を訪れてくれるのでしょうか。そのことについて調べていると、夕食時に父が飲んでいるビールなどの代金の一部がサンゴの再生に寄付されていることを知りました。

最近、多くの人々がスマートフォンから、いろいろな話題や情報を得ています。例えば、ラインのスタンプを沖縄のサンゴや海をテーマにした物を作り、その収益の一部をサンゴの養殖などに寄付するのはいかがでしょうか。また、スマートフォンのアプリだけではなく、天気が悪い時でも、遊べるようなドーム型の施設を気がるに立ちよれるように、空港の近くに造るのはどうでしょうか。その中で、例えば、最新技術のバーチャルリアリティーを使って、海の中で魚とたわむれる体験ができるようなアトラクションを造るのはどうでしょうか。そうすると、観光客の方々に、沖縄の良い所と、これからの課題も知ってもらえると思います。そうすることによって、今以上に観光客の方々も、サンゴの養殖活動に参加してくれるのではないかと思います。

最後に、沖縄の観光にとって大事なことは観光客の方々にも、ウチナーンチュにも、沖縄の良い所を広めていくべきですが、沖縄のサンゴの白化現象のような課題も広めていける環境作りが必要だと思います。